



# 宮城教育大学 ESD・RCEニュース



平成21年6月1日

## 第5号

宮城教育大学ESD・RCE推進会議から、学内外のESD・RCEの取り組みやニュースをお知らせします。

### I. これまでのESD 関連事業報告

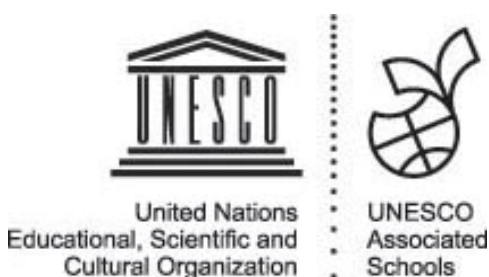
#### 1. 「国際協カイニシアティブ」第2回国内報告会(3月10日・火)

プログラムに基づき、「国際協カイニシアティブ」のうち「大学の知を活用したESD国際協力モデルの形成促進」における研究課題のうち、活動領域1の口頭発表(国際基督教大、三重大、東京大、筑波大、岡山大、北海道教育大)および活動領域2のポスター発表(本学、愛媛大、神戸大、横浜国立大)が行われました。パネルディスカッションでは関連諸機関の活動についての報告が行われました。



#### 2. ユネスコ・スクール研修会(3月27日・金)

県内の離任式と重なり、出席者は少なかったのですが、宮城県教育委員会ユネスコ・スクール担当者にもご出席いただき、内容の充実した研修会となりました。参加校からの報告内容です。白川中学校(地域の自然に目をむける野外観察活動等)・白石第二小学校(白石の自然・伝統・歴史を学ぶために白石和紙づくり見学等)・丸森東中学校(学校からはじまった改援隊活動等)・角田市立東根小学校(総合学習が一年で完結しているの、広げたい。等)



### 3. 気仙沼市・宮城教育大学連携センター開所式（4月21日・火）

平成21年4月21日（火）、気仙沼市・宮城教育大学連携センターの開所式が行われました。これは、宮城県教育委員会と気仙沼市教育委員会との間で連携協定が締結されて以来、環境教育・国際理解教育などで大きな効果が現れていることから、その連携機能の強化と、新しい教育課題に取り組むことを目的として、気仙沼市図書館2階に常設されたものです。

当日は本学及び気仙沼市教育委員会をはじめとした関係者約40名が見守るなか、学長等のテープカットにより新しい連携体制の幕が開かれました。



### 4. 気仙沼ESD/ユネスコ・スクール研修会（5月8日・金）

5月8日（金）午後から、気仙沼市立中学校において、2回目のユネスコ・スクール研修会を開催しました。（第一回目は、3月27日に本学・中会議室において開催しました。）

気仙沼地域の研修会には、加盟・申請中の26校と、講師や関係者併せて42名が参加しました。大変、内容の充実した研修会で、休憩時間無しでも予定時間をオーバーしたハードな会となりました。（参加者からは、一日コースの研修会では！との声もあがりました。）



### 5. 宮城教育大学グリーンウェイブ活動

宮城教育大学は、国連の生物多様性条約事務局が、5月22日の「国際生物多様性の日」に、世界各地の青少年の手で、それぞれの学校の敷地などに植樹を行おうと呼びかけているグリーンウェイブ活動に参加しました。

本学学生に混じり、高橋学長・各理事・ユネスコ・スクールの普及を支援する国際理解教育研究センターや環境教育実践研究センターの各センター長、および地域を挙げてユネスコ・スクールに加盟している気仙沼市教育委員会白幡教育長も参加し、宮城県の花・仙台市の花に指定されている萩（ミヤギノハギ）を学内のバタフライガーデンに植えました。

2005年から始まったバタフライガーデンの整備ですが、現在50余種のチョウの飛来が確認されています。今回植樹したミヤギノハギにどのようなチョウが飛来するか今後が楽しみです。植樹直前まで降っていた雨も止み、樹木にやさしいグリーンウェイブ活動となりました。



また、幼児教育の授業の一環で、学生達が「いのちの粘土団子・200個」を学内に植えました。

“ひまわり”や“なでしこ”など花の種、“にんじん”や“ラディッシュ”など野菜の種を入れた「いのちの粘土団子・200個」の発芽の様子を、自然に任せ見守ってことにより、生きようとする命と、自然の中で生かされている命を感じ、自然や『生きる力』に対する感性を培うことを目的に実践しました。



## Ⅱ. 今後の ESD 関連事業

- 6月 1日 宮城教育大学 広報誌 “Linkage” 発行
- 6月 1～5日 The Regional Workshop on the Thematic Issues in ESD (タイ・バンコク)
- 6月 17～21日 歴史のなかの教科書展 (気仙沼市・宮城教育大学連携センター主催)
- 7月 8日 気仙沼ESD/RCE環境教育推進会議

